

テーマ名：複雑自由に加工できる三次元造形システムによる新たな立体造形商品の事業化
～動物フィギュア、照明器具、各種インテリアなど様々な立体造形市場を創出する～

事業計画の概要：

・本事業は、コア企業の持つ「型板組合せの造形構造」（特許出願中）の技術をもとに、連携企業の三次元造形のための設計ソフト開発及びパッケージに係る合紙技術を組み合わせて、新商品を開発する。

・組立式マネキンd-torso（ディートルソ）は段ボール等の板材から、レーザーによって切断加工された部品で構成される立体造形物で、ディスプレイ用入台として開発された立体造形である。このd-torsoの三次元造形システムであるDTS（dimension transforming system）の特徴である

(1)金型無しで自由に形態作成ができること

(2)レーザー加工のため自由に素材（木製品、アクリル、金属等）を選べること

を活かして、ミニチュア動物フィギュア、各種インテリア、ギフト商品等の開発を行う。

・国内外におけるディスプレイ、インテリア、パッケージ、ギフト及びアート市場などで、九州から世界の市場を狙う。

コア企業：（有）アキ工作社（大分県国東市：モデル・模型製造業）

連携企業等：（有）ジェイ・パック（大分県由布市）、（有）ターボブレード（大分県大分市）

連携体の構成

商品企画・製造・販売

コア企業：（有）アキ工作社

- ・DTSによる三次元造形物の商品企画、設計ノウハウ、レーザー加工技術
- ・「型板組合せの造形構造」特許出願中

素材の開発

（有）ジェイ・パック

- ・段ボールを使った美装箱（パッケージ）の設計、製造、合紙（紙の貼り合わせ）の技術

ソフト開発

（有）ターボブレード

- ・三次元造形のための設計ソフト開発技術

連携の特徴

・コア企業の持つ型板組合せの造形構造技術と連携企業の持つ三次元設計ソフト開発ノウハウ等の連携により、新作の初期コストの低減、サイズ、形態の容易な修正、幅広い商品開発を実現。

・素材に段ボールを使用し、地球環境に配慮したコンセプトと高度なデザイン性により、ディスプレイ市場を始め新たな新商品展開を実現。

新事業

- ・多様なデザイン、形態、素材による新たな立体造形物（マネキン、ミニチュア動物フィギュア、各種インテリア、ギフト商品等）の設計、製作、販売。

市場性

- ・EUROSHOP2005（独デュッセルドルフ）で好評を博す。
- ・米現代美術館のMOCA・MO MAのミュージアムショップと取引開始。
- ・国内外のアパレル事業者、百貨店、小売店舗への展開のほか、メーカーとのコラボレーションでパッケージ商品等の展開を図る。
- ・5年後までには、1億円の売上を見込む。

支援予定メニュー

政府系金融機関低利融資（中小企業金融公庫）

事業化・市場化補助金